

2018 年度版 (2018年6月発行)

「ビジュアル」 ナーシングメソッド

統一した看護手順書・技術動画で安心な看護を提供!

手順書の更新やさまざまな技術指導に役立ちます

全300テーマ

新テーマ続々公開中!

2018 年度予定
テーマ数は変更する場合があります



第14回 日本eラーニング大賞
日本電子出版協会 会長賞
医療系eラーニング全国交流会 会長賞

業界初! ダブル受賞!



簡単に
編集できる
手順書

リアルな
映像で手技を
イメージ
しやすい

どこでも、
短時間の学習
に使える

無料デモ体験、
できます!

ビジュアルナーシングメソッド 検索 🔍

Gakken

「ビジュアル」 ナーシングメソッド

4つの ご利用サイクル

学研メディカルサポートでは、「看護手順書」「技術動画」「テスト」「評価表」の4本立てで
看護師の技術習得をサポートする「ビジュアルナーシングメソッド」を提供しています！

1

看護手順書で手技を学習

「根拠」「医療安全」「感染対策」「コツ」の視点に
もとづいた手順が学習できる！

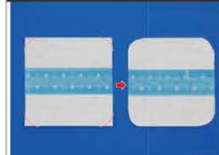
創傷処置（サージカルテープとフィルム材の貼り方、はがし方）

手順	ポイント（根拠・安全対策・感染対策・コツ・関連項目）
1 創傷処置の目的と方法を説明して患者の同意を得る	
2 必要物品を準備する	【感染】ハサミや物品を準備するトレイは、あらかじめアルコールで拭いておく
3 手指衛生を行い（清潔・無菌操作の前）、手袋を装着する	【感染】創部との接触による感染を防止する
4 あらかじめ、固定するガーゼの大きさに対して必要な長さ、枚数のテープをトレイに準備しておく	
5 創部を露出する	【コツ】患者の羞恥心に配慮し、不要な露出は避ける
6 テープをはがすことを患者に伝える	
7 【伸びないサージカルテープをはがす場合】 a. 指で皮膚を押さえながら、皮膚とテープの粘着面のあいだに大きな角度を保つようにしてテープを引っ張り、ゆっくりはがす	【根拠】強く引っ張ってはがすと炎症の原因となる 【コツ】皮膚の状態を確認しながらゆっくりはがす
8 b. 固定したテープをはがしたのち、ガーゼをはがす	
9 【伸びないサージカルテープを貼る場合】 a. ガーゼのざらつきや段差のない面を創に当て、ガーゼの中心から外側に向けて、均等に圧がかかるようにテープの貼付を行う	【根拠】 ・ガーゼに均一に圧をかけるため、中央から貼付する ・片側から貼って、引っ張りながら逆側を貼付すると、テンションが一定にかからず、皮膚が引っ張られたり、テープの端が浮いたりしてしまう 【コツ】長期間貼付をしている場合は、同じ部位の皮膚に刺激が加わるのを避けるため、前回貼付したテープ位置から少しずらす

図表1.

図表2.

図表3. 角の処理



フィルム材の四隅を、角をとるように丸くカットする。角があるとテンションがかかるため、角をカットすることで、皮膚が引っ張られず、はがれにくくなる

図表4. 液体タイプのリムーバー



身体に傾斜をつけ、高い位置にあるテープの角部分を少しはがし、皮膚とテープのあいだに液体リムーバーを1〜2滴落として液体リムーバーが流れ落ちる方向に沿ってテープをはがす

〈看護手順の管理をサポートする便利機能〉

編集機能



「編集」ボタンから施設独自の
物品・手順・写真に簡単に編集できる！

更新お知らせ機能



学研側で定期的にコンテンツを見直し、看護技術をフォロー。
更新されたコンテンツは、「学研更新」ボタンでお知らせ！

4

評価表で到達度を共有

学習者と指導者がそれぞれ到達度を入力・共有し、次の学習につなげられる

[学習者] 自己評価ができます

[指導者] 各学習者の評価ができます

3

テストで理解度を確認

学習した看護手順の理解度を自分で確認しながら復習できる

テストも施設独自に編集可能!

2

技術動画で場面を理解

個々の手技はもちろん、声かけから対応まで、看護の場面を理解できる



コンパクトな動画でポイントや注意点を何度でも確認!



一部テーマでは「看護記録を書く際のポイント」も説明!

ご利用病院様の声

標準看護手順書の作成により、新人教育・指導と看護技術習得の流れが標準化!



社会福祉法人 恩賜財団
済生会御所病院
副看護部長
永井 由紀 様

当院仕様のビジュアルナースングメソッド看護手順書作成により、看護職員全員が同じ教材で、いつでもどこでも学習できるようになりました。そのため、病棟間や個人による看護の差異がなくなり、教育・指導も円滑に行われるようになりました。とくに新人職員は、手順書と動画で学習→集合研修→復習後のテスト受講→現場での学習状況確認→実践→チェックリスト評価へと、看護技術習得の流れも標準化されました。

繰り返しの演習で 新人看護師の不安を軽減!



社会医療法人 杏園会
一宮西病院
看護部 教育委員長
武山 治美 様

ビジュアルナースングメソッドによる事前学習後の集合研修を行っています。事前に手順を学び、技術動画を見てイメージを持つことで、研修時間は演習中心に行うことができます。新人看護師は繰り返し演習を行うことで、実践での不安を軽減し、リーダーⅡ以上の研修では時間が短縮され参加者の負担軽減につながっています。

当院用に編集し、最新のエビデンスに基づいた看護手順がいつでもどこでも視聴できる!



社会医療法人 垣谷会
明治橋病院
左: 総看護部長
中村 しをり 様
右: 教育担当 看護師長
島田 美佐 様

看護師全員が必ず視聴し(視聴状況を把握し、毎月教育部へ報告)、新人指導はもちろん、ベテラン看護師も最新の手技を確認する場合に積極的に活用しています。新人指導では、事前に自己学習してもらい、集合研修で技術の統一を図っています。

当院仕様の看護手順書を作成し、 電子カルテ上でも閲覧可能に!



社会医療法人 三栄会
ツカザキ記念病院
左: 看護部長
山根 一美 様
右: 教育担当・副看護部長
喜多村 日富 様

ビジュアルナースングメソッドを導入し、当院仕様の看護手順書を作成しています。看護手順書をPDFデータ化し電子カルテ上に掲載することで、紙のマニュアルやインターネットを開くことなく、電子カルテ上で見ることができるようになり、利便性が向上しました。

受講費用 年度契約のみ ※全テーマ 2019年3月31日まで受講いただけます

▶ 学研ナースングサポートと併用の場合

併用が ビジュアルナースングメソッドとともに、学研ナースングサポート(講義配信サービス・別売り)の
おトク 著名講師陣による講義をOFF-JTで活用すれば、さらに質の高いOJTが実施できます!

受講料金	20,000 円/月(税別)
------	-----------------------

▶ 単体でお申し込みの場合

受講料金	40,000 円/月(税別)
------	-----------------------



単体でお申し込みの場合でも、オプションの追加ができます!

選べるオプション

看護管理者特別コースⅠ	(基礎・概論編) 認定看護管理者セカンド・サードレベルを対象にマネジメントスキルの基礎を学ぶ	120,000 円/年度(税別)
看護管理者特別コースⅡ	(実践編) 認定看護管理者セカンド・サードレベル対象の実践に活かせる最新12テーマ	120,000 円/年度(税別)
退院支援・地域包括ケアコース	これぞできる! 退院支援と地域包括ケア実践のコツ	120,000 円/年度(税別)
学研介護サポート	新人からベテランまで介護職の研修はおまかせ!	120,000 円/年度(税別)

※オプションの詳細は学研ナースングサポートのパンフレットをご覧ください ※オプションの追加は2つ以上から承ります ※お申し込みは年度契約のみとなります

お問い合わせ・資料請求は

株式会社 学研メディカルサポート

〒141-8414 東京都品川区西五反田 2-11-8

03-6431-1228 (代表) 平日 9:00~18:00
FAX 03-6431-1414 担当: 営業企画部
WEB <https://gakken-meds.jp>

20180601

新人看護職員技術チェックコース

カテゴリー	テーマ	カテゴリー	テーマ	カテゴリー
環境調整技術	<ul style="list-style-type: none"> ■ 病室の環境調整 ■ ベッドメイキング ■ 臥床患者のシーツ交換 	清潔・衣生活援助技術	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全身清拭 ■ 洗髪 ■ 臥床患者の口腔ケア ■ 挿管患者の口腔ケア ■ 義歯のある患者の口腔ケア ■ 入浴介助 ■ シャワー浴介助 ■ 陰部洗浄 ■ 陰部洗浄(膀胱留置カテーテル挿入患者) ■ 手浴 ■ 足浴 ■ おむつ交換 ■ 寝衣交換 ■ チューブ類の取り扱い(寝衣交換の場合) ■ 整容 	与薬の技術
食事援助技術	<ul style="list-style-type: none"> ■ 間接的嚥下訓練(嚥下体操) ■ 間接的嚥下訓練(アイスマッサージ) ■ 安全な食事介助のための準備 ■ 食事介助 ■ 経鼻胃管の挿入 ■ 経鼻胃管からの栄養法 ■ 胃ろうからの栄養法 ■ 経腸栄養ポンプ:アプリックススマート ■ 経腸栄養ポンプ:カンガルーポンプ 			
排泄援助技術	<ul style="list-style-type: none"> ■ 臥床患者の排尿援助 ■ 臥床患者の排便援助 ■ 導尿 ■ 膀胱留置カテーテルの挿入 ■ 膀胱留置カテーテルの管理 ■ 膀胱留置カテーテルの抜去 ■ 浣腸(グリセリン浣腸) ■ 摘便 	呼吸・循環を整える技術	<ul style="list-style-type: none"> ■ 鼻カニューレによる酸素吸入 ■ 簡易酸素マスクによる酸素吸入 ■ ネブライザー機能付き酸素吸入器による酸素吸入 ■ 酸素ボンベからの酸素吸入 ■ 口腔内・鼻腔内吸引 ■ 気管切開患者の開放式吸引 ■ 挿管患者の開放式吸引 ■ 挿管患者の閉鎖式吸引 ■ 人工呼吸器の準備 ■ 人工呼吸器の管理 — 1.呼吸器と気道の管理 ■ 人工呼吸器の管理 — 2.患者の観察 ■ 人工呼吸器の管理 — 3.日常のケア ■ 人工呼吸器の管理 — 4.アラーム対応 ■ ジェットネブライザーの実施 ■ 超音波ネブライザーの実施 ■ 人工呼吸器の回路交換 ■ 体位ドレナージ ■ 体温調整 	
活動・休息援助技術	<ul style="list-style-type: none"> ■ 歩行介助 ■ 車いすへの移乗 ■ 車いすでの移送 ■ ストレッチャーへの移乗 ■ ストレッチャーでの移送 ■ チューブ類の取り扱い(移乗の場合) ■ 体位変換(左右の移動) ■ 体位変換(上下の移動) ■ 体位変換(仰臥位から側臥位) ■ 体位変換(仰臥位から端坐位) ■ チューブ類の取り扱い(体位変換の場合) ■ 廃用症候群予防 ■ 関節可動域訓練(上肢) ■ 関節可動域訓練(下肢) ■ 入眠・睡眠の援助 ■ 体動・移動に注意が必要な患者への援助(認知症患者の場合) 	創傷管理技術	<ul style="list-style-type: none"> ■ 包帯法(螺旋帯) ■ 包帯法(蛇行帯) ■ 包帯法(亀甲帯) ■ 包帯法(三角巾) ■ 褥瘡の予防 ■ 褥瘡の予防 — 摩擦とずれ予防 ■ 褥瘡処置 ■ 創傷処置(サージカルテープとフィルム材の貼り方、はがし方) 	

テーマ	カテゴリー	テーマ	カテゴリー	テーマ
<ul style="list-style-type: none"> 経口与薬 経皮与薬 口腔内与薬 点眼 点耳 点鼻 直腸内与薬 吸入法(定量噴霧式吸入器) 吸入法(ドライパウダー式吸入器) アンプル、バイアルからの薬剤の吸い上げ ミキシング、プライミング 皮下注射 筋肉内注射 皮内注射 インスリン製剤の種類・用法と副作用 インスリン注射(専用シリンジ) インスリン注射(ペン型) 静脈内注射(ワンショット) 点滴静脈内注射 ヘパリンロック 三方活栓からの静脈注射 中心静脈カテーテル挿入の準備 中心静脈カテーテル挿入の介助 中心静脈カテーテル挿入患者の管理 輸液ポンプの使用 輸液ポンプの管理 シリンジポンプの使用 シリンジポンプの管理 輸血の準備 輸血の実施 輸血中と輸血後の観察 麻薬の理解と管理 特別な注意を要する薬剤の管理 抗菌薬の用法の理解と副作用の観察 抗ウイルス薬等の用法の理解と副作用の観察 	救命救急 処置技術	<ul style="list-style-type: none"> 意識レベルの把握 一次救命処置(BLS) バッグバルブマスクの使用法 ジャクソンリースの使用法 AEDの使用法 気管挿管の準備と介助 止血法 チームメンバーへの応援要請 脈拍測定 動脈触知(上肢) 動脈触知(下肢) 動脈触知(頭頸部) 腋窩検温 体温測定(鼓膜) 血圧測定 血圧測定(電子血圧計) 血圧測定(下肢) 瞳孔の評価 呼吸音の聴取 シリンジ採血 真空管採血 血液培養 咽頭培養 胃液培養 尿の採取 喀痰採取 喀痰採取(吸引による) 動脈血採血の準備と検体の取り扱い 血糖値測定 12誘導心電図の装着と計測 心電図モニタの装着と管理 パルスオキシメータによる測定 身長測定 体重測定 胸囲測定 腹囲測定(立位) 腹囲測定(臥位) 採尿・尿検査の方法と検体の取り扱い 	苦痛の 緩和・ 安楽確保 の技術	<ul style="list-style-type: none"> 安楽な体位の保持 冷罨法 温罨法 リラクゼーション法 精神的安寧を保つためのケア スタンダードプリコーション(標準予防策)の考え方
	症状・ 生体機能 管理技術		感染予防 技術	<ul style="list-style-type: none"> 手洗い 手指消毒 個人防護用具の着脱 N95マスクの着脱 滅菌手袋の装着 滅菌ガウンの着用 滅菌物の取り扱い 清潔区域のつくりかた 感染性廃棄物の取り扱い 針刺し防止策と針刺し後の対応 洗浄・消毒・滅菌の取り扱い
			安全確保 の技術	<ul style="list-style-type: none"> 誤薬防止 患者誤認防止策の実施(患者確認) 患者・部位・手技名の誤認防止(タイムアウト)に関する手順 転倒転落防止策 薬剤曝露の防止 放射線被曝の防止
			死亡時の ケア	<ul style="list-style-type: none"> 死後のケア

新人看護職員技術チェックコース プラス+			
カテゴリー	テーマ	カテゴリー	テーマ
基本技術	■ 皮下埋め込み型ポートの管理	消化器	■ 腹腔穿刺
	■ ドレーン挿入患者の管理		■ 腹腔ドレーン挿入
	■ 局所麻酔における看護		■ イレウス管挿入患者の管理
	■ 胃瘻周辺部のスキンケア		■ ストーマサイトマーキング
	■ 弾性ストッキングの着用		■ ストーマ造設術直後の装具交換
	■ 間欠的下肢空気圧迫法		■ ストーマ装具の排泄物処理
救急	■ 救急カートの点検	検査	■ 腰椎穿刺
	■ 除細動		■ 骨髄穿刺
	■ ハイムリック法		■ 上部消化管内視鏡検査
	■ 窒息時の吸引		■ 上部消化管内視鏡検査看護
	■ 経口エアウェイ・経鼻エアウェイ		■ 下部消化管内視鏡検査
	■ 熱傷時の初期対応		■ 下部消化管内視鏡検査看護
	■ 胃洗浄における看護		■ 気管支鏡検査
	■ アナフィラキシー発症時の初期対応		■ 気管支鏡検査看護
	■ 病院内での成人に対する 二次救命処置（ALS）		■ 心臓カテーテル検査
			■ 心臓カテーテル検査看護
手術	■ 硬膜外麻酔における看護	その他	■ 血管造影検査
	■ 貯血式自己血輸血の採血		■ 血管造影検査看護
集中ケア	■ 脳室ドレナージの管理		■ 上部消化管 X 線造影検査
	■ 動脈圧モニタ（準備）		■ 上部消化管 X 線造影検査看護
	■ 動脈圧モニタ（ラインの挿入）		■ 超音波検査
	■ 動脈圧モニタ（採血）		■ 超音波検査看護
呼吸器	■ 動脈圧モニタ（管理）		■ RI 検査
	■ 経皮的気管穿刺（緊急時）		■ RI 検査看護
	■ 気管切開部の管理		■ CT 検査
	■ 気管切開チューブ交換の介助		■ CT 検査看護
	■ 人工呼吸器離脱（SAT、SBT）		■ MRI 検査
	■ 人工呼吸器離脱（気管チューブの抜去）		■ MRI 検査看護
	■ 胸腔穿刺（胸水）		■ X 線一般撮影
	■ 胸腔ドレーン挿入（胸水）		■ X 線ポータブル撮影
	■ 胸腔ドレーン挿入（気胸）		■ 陰圧閉鎖療法中の患者の管理
	■ 胸腔ドレナージの管理		■ 介達牽引・直達牽引の介助
循環器	■ 心嚢穿刺		■ 牽引中の患者の管理
	■ 心嚢ドレーン挿入		■ 神経根ブロックの検査前準備（病棟・外来）
	■ 体外式ペースメーカー挿入患者の対応		■ 神経根ブロックの検査前準備（放射線科）
	■ 心臓ペースメーカー植え込み術直後の対応		■ 神経根ブロックの検査介助
			■ ギブス巻きの介助
			■ 牽引中の体位交換

小児看護に必要な臨床の声かけ・技術を中心に **29** テーマをラインナップ!

小児看護コース

カテゴリー	テーマ
食事援助技術	<ul style="list-style-type: none"> ■ 安全な食事介助のための準備 ■ 食事介助（調乳） ■ 食事介助
排泄援助技術	<ul style="list-style-type: none"> ■ 浣腸（グリセリン浣腸）
活動・休息援助技術	<ul style="list-style-type: none"> ■ ベビーカーの使い方 ■ 入眠・睡眠の援助
清潔・衣生活援助技術	<ul style="list-style-type: none"> ■ 口腔ケア ■ 小児の沐浴 ■ シャワー浴の介助 ■ おむつ交換
症状・生体機能管理技術	<ul style="list-style-type: none"> ■ バイタルサインの測定 ■ 尿の採取 ■ 身長測定 ■ 体重測定 ■ 頭囲測定 ■ 静脈血採取 ■ パルスオキシメータによる測定
苦痛の緩和・安楽確保の技術	<ul style="list-style-type: none"> ■ 冷電法 ■ 温電法
安全確保の技術	<ul style="list-style-type: none"> ■ 転倒転落防止策
呼吸・循環を整える技術	<ul style="list-style-type: none"> ■ 酸素吸入（総論） ■ 酸素吸入（鼻カニューレ） ■ 酸素吸入（酸素マスク） ■ 口腔内・鼻腔内吸引
与薬の技術	<ul style="list-style-type: none"> ■ 吸入法（総論） ■ 吸入法（ジェットネブライザー） ■ 吸入法（定量噴霧式吸入器） ■ 吸入法（ドライパウダー式吸入器）
その他	<ul style="list-style-type: none"> ■ プレバレーション

知識や技術の向上、現場での実践に役立つ **16** テーマをラインナップ!

在宅終末期ケアコース

カテゴリー	テーマ
在宅終末期ケア	<ul style="list-style-type: none"> ■ 終末期とエンドオブライフケアの考え方 ■ 終末期ケアへの意思の確認 ■ 在宅療養の準備（情報源と収集すべき情報） ■ 退院前カンファレンス ■ 在宅療養の準備（患者と家族に提供すべき情報） ■ 訪問前準備（緊急体制の確立） ■ 訪問看護計画立案作成 ■ 初回訪問時の注意点 ■ 初回訪問（バイタルサインのチェック） ■ 初回訪問（服薬指導） ■ 初回訪問（帰り際） ■ 初回訪問（振返り） ■ 家族との関わり方 ■ チームアプローチ ■ 急変時の対応 ■ 訪問看護報告書の作成